

CPO Oracle Database の重複したサブネットワーク

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[重複したサブネットワーク TestDwdm](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Oracle Database を通して Cisco Prime Optical (CPO) の複製されたサブネットワークをクリアするためにメソッドを記述したものです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- CPO
- Unix コマンド

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

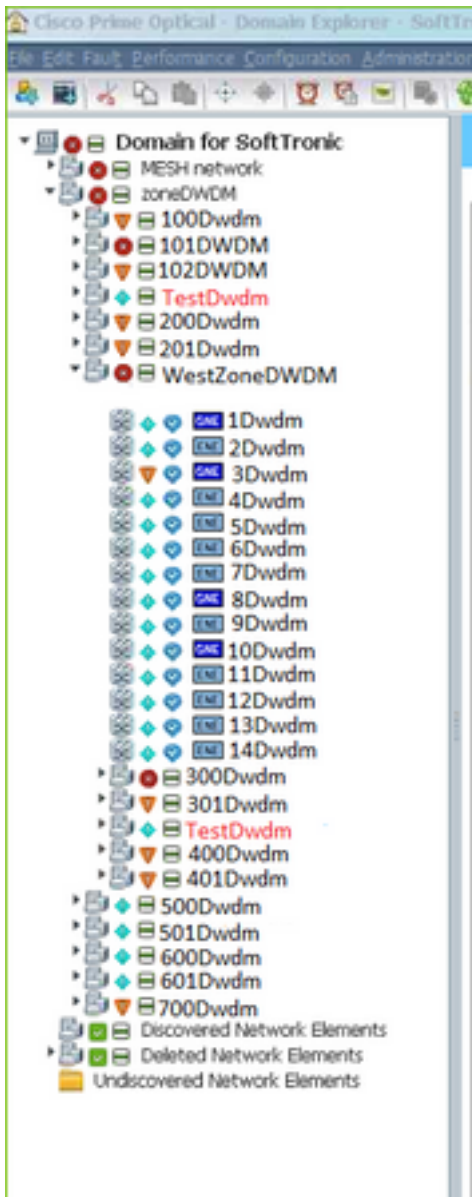
背景説明

CPO の別のグループの一部である誰かがサブネットワークを間違っ作成する場合 9.6.3 ソフトウェア リリースのこの問題を観察するかもしれないし、普通発生します。

ここでは使用される CPO のソフトウェア バージョンは次のとおりです: 9.6.3 Server:9.6.3 Build:403 Patches:4 (大きい)。

重複したサブネットワーク TestDwdm

問題 (例と): 重複したサブネットワーク TestDwdm およびあなたがイメージに示すようにそれを削除する必要があります。



イメージから、サブネットワーク TestDwdm が zoneDWDM グループ、また WestZoneDWDM グループの下で利用できることが見られる場合があります:

注: 重複したサブネットワークは WestZoneDWDM グループの下にそれが不必要なサブネットワークであるので、あります。

Oracle DB にログイン することによって WestZoneDWDM グループからサブネットワーク TestDwdm を削除する必要があります。

解決策

最初方式重複したサブネットワークをクリアするため:

ステップ 1.重複したサブネットワークを選択し、『Edit』をクリックして下さい。

ステップ 2.編集から『Delete』を選択して下さい。(重複したサブネットワーク > EDIT > DELETE を選択して下さい)。

場合によっては述べられたステップによって CPO から重複したサブネットワークを削除しても、それは CPO をリフレッシュすれば再現できます。

そのケースでは、サブネットワークを削除するために次の手順に従うことを試みることができます:

ステップ 1.複製されたサブネットワークを開くために、サブネットワークをダブルクリックして下さい。

ステップ 2.すべてのノードを複製されたサブネットワークの下で選択し、そして Out Of Service としてノードを右クリックし、マークして下さい。

ステップ 3. CPO の Edit タブからノードを一つずつ削除して下さい。

注: アクティブおよび複製サブネットワークからノードを削除するので、Edit タブから削除 All オプションを選択しないで下さい。

ケースでは、これら二つのオプションははたらかないし、そのケースで Oracle DB にログインすることによって重複したサブネットワークを削除する必要があります。

これは既知の不具合であり、プロシージャは述べられた例について問題をクリアするためにここに記述されています。

この例では、Oracle DB にログインすることによって WestZoneDWDM グループからサブネットワーク TestDwdm を削除する必要があります。

Oracle DB にログインすることによって重複したサブネットワークを削除するプロシージャ (各ステップのスクリーンショットはまた接続されます):

ステップ 1 イメージに示すように Oracle Database へのログイン。

```
root@PObackupS ~] # su - cporacle
cporacle@PObackupS ~] $ sqlplus / as sysdba
[root@PObackupS ~]#
[root@PObackupS ~]# su - cporacle
[cporacle@PObackupS ~]# sqlplus / as sysdba

SQL*Plus: Release 11.2.0.3.0 Production on Mon Nov 30 08:52:49 2015
Copyright (c) 1982, 2011, Oracle. All rights reserved.

Connected to:
Oracle Database 11g Enterprise Edition Release 11.2.0.3.0 - 64bit Production
With the Partitioning, OLAP, Data Mining and Real Application Testing options

SQL>
```

ステップ 2.コマンドでおよびイメージに示すようにグループ名からグループ ID を得て下さい。

SQL> は group_info_table からグループ ID をとここで groupname=<duplicated 範囲を定められたグループ name> 選択します;

```
SQL> select groupid from group_info_table where groupname= 'TestDwdm';

GROUPID
-----
-143
```

このステップはグループ ID を重複したサブネットワークのために割り当てられて調べるために使用されます。

注: この例では、グループ名は TestDwdm、適切な重複を入力する必要があります範囲を定められたグループ名です。

コマンドの実際のフォント サイズは与えられた例と異なるかもしれません。

ステップ 3.イメージに示すようにグループ ID から PARENTID を得て下さい。

SQL>select * domain_table からの...ところ childid=<GROUPID>;

```
SQL> select * from domain_table where childid=-143;

TREENODEID PARENTTYPE PARENTID CHILDTYPE CHILDID
-----
605        2        -110      2        -143
870        2        -124      2        -143
```

この場合、2つのサブネットワーク(1オリジナルおよび複製される1)があります、従ってそれぞれのサブネットワークに異なる PARENTID があります。

注: 143 はステップ 2.から得ることができる CHILDDID (グループ ID) です。これはケースから包装するために変わります。

ステップ 4.ステップ 3.からおよびイメージに示すように得られる PARENTID からのグループ名を検索して下さい。

SQL> は group_info_table からグループ名をとここで groupid=<PARENTID> 選択します;

```
SQL> select groupname from group_info_table where groupid=-110;

GROUPNAME
-----
zoneDWDm

SQL> select groupname from group_info_table where groupid=-124
2 ;

GROUPNAME
-----
WestZoneDWDm
```

これはグループが重複したサブネットワークを見つけ、それに応じて削除するかどれにどの PARENTID が属するか確認することであり。

注: この場合、このコマンドで、PARENTID -124 が複製されたサブネットワークである CPO の WestZoneDWDM グループの下であり、ことを確認できます。ここにグループ ID はステップ 3.から得ることができる PARENTID です。

コマンドの実際のフォント サイズは与えられた例と異なるかもしれません。

ステップ 5.適切な行を Oracle DB から削除し、イメージに示すように託して下さい。

domain_table からの SQL> 削除ところ treenodeid=<TREENODEID>;

SQL> は託します;

```
SQL> delete from domain_table where treenodeid=870;

1 row deleted.

SQL> commit;

Commit complete.
```

注: ステップ 4.から託しますです必須コマンド重複したサブネットワークのための treenodeid を得ることができます。

関連情報

既知の不具合であることを提案します: [CSCup57506](#).

この不具合は 10.3 のソフトウェアで前にフィックスされます。